



読谷の自然は3月号で最終回となります。

文・写真 大平特別支援学校
山本正英

美しい斑紋を持つ大型のヤマムガの仲間で、開張は15cm近くになる。写真は雌の個体ですが、雄は雌に比べて翅が少しほっそりとしています。出現期間は夏場に限られますが、個体数は多い方です。街灯などによく集まる習性があり、発生時期

なら見つけることは容易です。幼虫は白く細かい突起が沢山あり、いかにも毒々しい感じがしますが毒はありません。食草はミカンやブナなど多岐にわたるので発生場所も多いです。その大きさや模様からヨナグニサンに間違われることもあります。比べてみると大きさや模様の差は明らかです。また、本種の分布は日本全土から中国にかけてアジアに広く分布していて、アジアではよく知られた種類です。最近ではよく知られた種類です。最近では翅の美しさから欧米などに飼育用として持ち込まれている例もあるほどです。また、本種の改良品種であるエリサンやヒマサンが中国などで絹糸虫として飼育され、絹がとられていることもあります。

読谷の自然(200)

昆虫類 140

～シンジュサン～

(チョウ目:ヤマムガ科)

災害時に命を守る一人一人の防災対策 (シリーズ3)

地震がきたとき どうする？

地震は、いつどこで発生するか分かりませんが、気象庁の「緊急地震速報」を活用することによって、強い揺れが来ることを直前に予測し、身の安全を守る行動をとることができます。緊急地震速報は、震度5以上が予想されたときに発表され、防災無線やテレビ、ラジオ、携帯電話などを通じてお知らせします。

緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れが来るまで数秒から数十秒しかありません。すぐに周りの人に地震が来ることを知らせ、あわてずに身の安全を確保するようにしましょう。

家の中では

座布団などで頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れましょう。もし、火災が発生したら火を始末し、火元から離れている場合は、無理して火元に近づかないようにしましょう。

商業施設などでは

施設の誘導係員の指示に従い、頭を保護し揺れに備えて身構えましょう。あわてて出口・階段などに殺到しないようにし、ガラス製の陳列棚やつり下がっている照明などの下から離れるようにしましょう。

エレベーターでは

最寄りの階で停止させ、速やかにエレベーターから降りるようにしましょう。

街にいるときは

ブロック塀や自動販売機など倒れてきそうなものから離れましょう。看板、割れた窓ガラスの破片が落下することがあるので、建物の周囲から急いで離れましょう。

津波警報・津波注意報がでたときはどうする？

海岸近くにいるときに強い揺れを感じたり、防災無線で津波警報・津波注意報を聞いたりしたときは、すぐにその場所から離れ、高台などに避難しましょう。

